

テラスミーティング TOKIWA

玄馬 久那愛

「テラスミーティング」とは、MPMラボ（ミズシマ・パークマネジメント Lab.）主催で、2019年以降、仁科百貨店本店の跡地を利用し、同地が、水島内外を問わず、多くの人の集える場所（街のリビング）となることを願って実施されてきた「水島パーキングデー」の後を継ぎ、今年3月から始まった行事である。その背景には、9月の第3金曜日に世界で同時開催される水島パーキングデーの行われる時期は、ここ数年、温暖化の影響もあって残暑が非常に厳しいこと、また、3月に移行することによって、より多くの地元倉敷古城池高校の生徒や地域の若者達が参加しやすい環境になることがある。

以上の流れの中で、テラスミーティング初年に当たる今年、昭和の雰囲気醸成されている水島商店街において、水島内外の人々に水島×昭和を感じ、楽しんでもらうために近年の流行りである「昭和レトロ」をテーマとしている。

【活動報告】

《当日までの活動》

2024年から初めて、倉敷古城池高校の生徒数名と水島在住の若者を中心に2023年の7月22日を皮切りにテラスミーティング TOKIWAのために活動を行った。今年のテーマは、「昭和」であるため、まず、昭和とはどういう時代なのか、昭和レトロの雰囲気を醸し出すために、どのような趣向を凝らせばよいのかを学ぶために9月24日に岡山県瀬戸内市長船町にある「日本一のだかし売場」を訪れた。だかし売場では、昔懐かしの駄菓子が数多く売っているだけでなく、昔ながらの駄菓子屋を彷彿とさせる建造物があった。



訪れるだけでは、昭和に流行したものなどが詳しくは分からないため、各自、テラスミーティングのために展示するものや提供するものを調べることも行った。そして、調べたことを皆で持ち寄り、吟味した結果、飲食コーナーでは手作りのサンドウィッチやプリンアラモードなどを販売すること、遊びコーナーでは、輪投げやけん玉で昔の遊びを体験してもらうこと、音楽コーナーでは、昭和のヒットソングを流すこと、写真コーナーでは、昭和の服を着てチェキで写真を撮ったり、家電の変遷の写真を並べたりすることが決定した。

《テラスミーティング当日》

3月16日の13:00～17:00の間で開催された。水島工業高校の移動式茶室(月待庵)が無事に完成し、テラスミーティング自体の準備も開催までに終わることが出来た。開催当初から水島内外の人が多く訪れた。訪れた人同士で交流している姿が見られた。また、飲食コーナーで買ったものを食べて満足している人々の姿や展示コーナーでの展示物を見て昔を懐かしんでいる人々の姿も見られた。年配の方だけでなく、子どもも遊びコーナーに夢中になって遊んだり、家電の変遷の写真を見て驚いたりしていた。また、チェキでの写真撮影も多くの方がポーズをとったり、変装したりして楽しんでいた。



それぞれのコーナーの高校生は、自分たちの仕事を一生懸命遂行していた。大人に対し

て物怖じすることなく、「いらっしゃいませ」「輪投げをしてみませんか」と声掛けをして集客をしたり、子どもが訪れた時は積極的に関わり、遊び方を教えたりしていた。また、音楽コーナーを担当している人が空いた時間に飲食コーナーを手助けをするなど、生徒同士の積極的な関わり合いも見られた。



会場で収集した感想では、「どのコーナーも楽しかった」「懐かしい気持ちになった」「どの年代も楽しめるよ

うなイベントで良かった」と良いコメントが多く寄せられた。

【運営者の感想】

倉敷古城池高校の生徒

◆ 3年 大塚さん

月1回という少ない時間の中でそれぞれが責任をもってすごいでと思った。私は受験で参加出来なかった時があり、両立することが難しかったが、なんとか最後の本番まで途中で抜けたりせずできて安心している。本番では、チェキで昭和の服を着たお客さんを撮る係をして、最初はみんな恥ずかしがっていたが、撮り終わりチェキを渡すと必ず笑顔になり楽しかったと言ってもらいとても嬉しく感じた。しかし、参加者同士の交流が少なかったなどの改善点もたくさん自分の中で出た。それらをまとめて次回に繋げたいと思う。

◆ 3年 守谷さん

準備の時に高校生らしい新しい案を出せたり、大人だけに準備を任せることなく一人一

人が課題をもって取り組めていたりしたのはとても良かったです。その反面当日では準備が間に合わなかったり、忙しい人とそうでない人ができたりと改善すべき点は多いのかなと感じました。自分の持ち場じゃなくても忙しそうだから助けにいかうだったり、次は何が必要なのか自分にできることはなにか考えたりしながら動くことが出来ていたらより良くなってたのかなと思います。個々で改善すべきところはあると思いますが、多くの方に楽しんでもらえ、また水島を盛り上げられたことはとても意味あるものだったと思います。この経験を活かしていくとともに、これからもこのような活動を続けていきたいと思いました。一年間ありがとうございました。お疲れ様です。

◆ 2年 谷口さん(音楽コーナー)

私は会場全体で流す音楽を選ぶ係を担当した。最初はカラオケをする予定だったけれど、機材を借りるのにとっても費用がかかるという理由からカラオケは中止になった。私は昭和の終わり頃のヒット曲しか知らなかったけど、年齢が高い方もたくさん来場されるだろうという先生からのアドバイスで1960年代から80年代の広い年代の曲を選曲することにした。また、1時間ごとに1960年代、1970年代、1980年代の曲と流す曲を変えて時代の移り変わりを感じられるようにした。スピーカーに流している曲の年代がわかるよう紙に書いて貼るなど工夫した。多くの世代の方が楽しめる選曲になったと思う。

当日の朝は食品チームの準備が思ったより大変そうだったのでサンドウィッチを作る手伝いをした。音楽係は準備があまり必要なかった。イベントが始まってからは遊び係の手伝いをしていたが、多くの方が流れている曲を口ずさんだり、懐かしいねと言ってくさっていた。カラオケはできなかったけど会場に音楽が流れているのといないのでは大きく雰囲気が変わると思うので、昭和の音楽を流して良かったと思った。

◆ 2年 亀和さん(飲食コーナー)

飲食の中でも加熱する時には申請が必要だったり、買い出しで欲しいものや欲しい量がなく、試作の段階で自分たちが思っている以上に見た目が質素になってしまったりしたなど飲食を提供する側としてたくさんの難しいことがたくさんあるなと思いました。駄菓子屋ではさまざまな懐かしの駄菓子がたくさんあってすごかったです。飲食の買い出しもそこで行いました。

当日はお釣りの小銭がないなどハプニングがあったけど来てくれた人が喜んでくれてよかったです。テラスミーティングを通して思ったことはただしたいという気持ちだけでは現実には難しいということがたくさんあるなと思いました。ですが、自分のしたいことが形になっていくのはとても面白かったです。今までありがとうございました！

◆ 2年 國定さん(飲食コーナー)

準備期間での苦労は参加人数や今までの状況を知らなくて初めてのことでなにも分から

なくて困ったことです。昭和がテーマでしたが自分が生まれたのは平成で昭和のことをあまり知らなかったのもその点も困りました。仕入れるお菓子や飲み物、作るサンドイッチやプリンアラモードの数など分量やお金の計算をするのが苦労しました。

当日は思ったより最初にお客さんが沢山来て提供を急いでしないと焦りました。サンドイッチやプリンは手作りで持ちが悪いので作ったらすぐに提供できるように頑張りました。綿菓子一つ作るのに時間がかかるのでなるべくすばやくお客さんに提供することを心がけて個体差ができないように頑張りました。また、お客さんが少ないと感じた時は「いらっしゃいませ！」と呼びかけして人が来やすい雰囲気作りをしました。

駄菓子屋訪問ではパッケージが昭和な雰囲気食べ物や懐かしい食べものを率先して選ぶようにしました。今までありがとうございました！

◆ 2年 徳永さん(飲食コーナー)

最初の昭和のイメージは駄菓子、黒電話があるというような抽象的なイメージであり知らなかった。しかし、この活動により昭和について深く関わる事が出来魅力を知ることが出来た。

準備では、物の値段でなるべく費用を抑えるように試行錯誤が大変だった。どんな駄菓子が喜ばれるのか、昭和と言えどどんなものなのか知識ゼロから始まったので昭和世代の人に個人的に聞いたりして考えた。

本番では、想像していたよりも商品の準備、注文から渡すまでなど初めての事ばかりで忙しかった。しかし、来てくれた人が美味しかったや昭和を思い出すようなもので楽しいなど言って下さり、達成感を感じる事が出来た。

◆ 2年 西林さん(飲食コーナー)

打ち合わせの際、昭和に対してのイメージを膨らませ、どんなものを作りあげたいか考えるのがとても大変で、楽しかったです。準備を通して1番大変だったことは、本番を想定してどの食材をどれくらい買うか計算したことです。テラスミーティング自体が初めてだったので、どのくらいの人に来るのか想像するのが難しかったです。

駄菓子屋訪問で昭和のイメージを深く持つことができました。当日は準備の時間が足りず、料理をするのがギリギリになってしまったり、気温の関係でおしるこが売れなかったりと、いろいろ大変なことがありましたが、みんなが楽しんでいる様子を見ることができたのでよかったなと思いました。

私はチラシも担当したのですが、昭和レトロの世界をなるべく表現するためにフォントを何通りか試したり、色味に気をつけたりするなど、試行錯誤を重ねてなんとか作りあげることができました。またみんなと、水島の魅力を伝えられる活動をしたいなと改めて感じました。今までありがとうございました！

◆ 2年（飲食コーナー）

準備を甘く見ていた部分があり、当日下準備に手間取ってしまったことや、綿菓子機で綿菓子を作るのに綿菓子を作る練習ができず、準備不足のまま提供する形になってしまったことがあります、準備をもう少し丁寧にするべきだったと感じました。打ち合わせでは、自分から進んで発言したりすることが出来ずに終わってしまったことが心残りです。

駄菓子屋を訪れた時、色々な世代の方々がおり、駄菓子屋は地元の人々にとって懐かしい場所であり、子どもたちにとっては楽しい思い出を作る場所でもあったと感じました。

私は当日、飲食コーナーを担当しました。飲食物の提供に関する衛生管理や安全面にも注意し、手袋を装着するなど気をつけました。サンドウィッチの作りでは予期せぬ問題に直面することがありました。例えば、食材の不足や下準備に思ったより時間がかかるなどが挙げられます。急な食材の調達や、下準備は、友達の協力を得て解決することが出来ました。開始時間より5分くらい遅れたけど、無事に販売を開始することか出来て安心しました。来てくれた方々が私たちの作った食事を「美味しい」と言ってくれた時に達成感を感じました。

活動を通じて、昭和レトロや水島の問題点を学びました。テラスミーティングのようなイベントがあると、地域の方々が集まり話し合いをする機会が設けられそのイベントがもっと広がり大きくなると地域活性化に繋がるのではないかと考えました。

◆ 2年 小川さん

決まった役割はありませんでしたが、本番では写真コーナーのお手伝いできてよかったです。

チラシを中学校や小学校に配りに行くことが初めてのことで、とても良い経験になりました。

展示のパネルにするはずだった木の板(?)が不安定だったのは不安でしたが学校からパネルを貸し出してくれて安心しました。「昭和」というテーマは昭和が長いので難しかったです、親戚や家族も協力してくれて、昭和の頃のものを借りられたのでよかったです。本番では子どもたちが楽しそうに遊びコーナーで遊んだり、綿菓子を頬張ったり、写真を嬉しそうに撮ったりしてくれていて、達成感を感じました。大変なことは多かったですけど何よりも楽しかったです。1年間ありがとうございました。

水島在住の若者

◆ 大学2年 玄馬さん(写真コーナー)

撮影用の衣装を考えるにあたって、着替えに関して制約が多く、どのような衣装が適切なのか探すのに苦労した。昭和といっても私達、平成生まれが思う昭和と昭和生まれ、昭和育ちの方が思う昭和では齟齬が生じるため、昭和っぽいという雰囲気を決める形となった。参考として色々検索したり、昭和の頃から続く店の方に話を聞いたりもしたが、昭和

は幅広く、難しいテーマだと思った。だが、調べていくうちに、昭和の奥深さを感じ、より昭和の世界について浸ってみたいと思うようになった。

本番当日、チェキで楽しそうに写真を撮る人がたくさんいてとても微笑ましかった。また、展示コーナーを見て会話をする人もいて、なつかしさを感じてもらえてうれしかった。もう少し、積極的に関わって、当時の話を聞けるような雰囲気をつくってあげればよかったと反省した。打ち合わせに関しても改善すべきことが多いため、来年に活かしていく。

この活動を通じてもっと親や年上の方と会話をして昭和について勉強していきたい。また、来年も同じように水島内外の人が交流できる行事に携わり、今回、学んだことを活かしていきたい。